

# 龍田紡績株式会社

タツボーの方針 (昭和36年1月社是として制定したものです)

みんな仲よく  
いつも新しく  
みんなのよい考え

商号	龍田紡績株式会社 TATSUTA SPINNING CO LTD
本社	〒670-0965 姫路市東延末264番地
創業年	1901年(明治34年)10月
設立年	1937年(昭和12年)3月11日
資本金	90,000,000円
従業員数	42名
事業内容	綿糸・合繊混紡糸・各種特殊糸 ニット生地・縫製品

## 創業から本格的な紡績工場へ そして発展へ

明治34年(1901年)10月当時の荒川村井ノ口(現姫路市井ノ口)に現社長龍田信一の曾祖父に当たる龍田謙也が、織機数台で織物工場を始めたのが弊社の始まりです。その8年後の明治42年には、起毛機から出火し工場が焼失しましたが、現地での復旧は認められずに工場用地を手柄村延末(現在の姫路市延末)に求めました。大正9年(1920年)には、イギリスから紡績機4,176錠、織機200台を輸入し、従業員200名の紡績工場経営に進出しました。その後、昭和12年3月(1937年)には、龍田紡績株式会社を設立しました。昭和16年(1941年)には、海軍省管理工場として、航空機用の絹パッキンを生産しました。そして、昭和20年(1945年)7月の米軍の空襲により、工場が全焼しました。

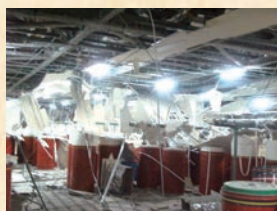
戦後の昭和24年には、綿紡績10,664錠を復元でき、昭和26年(1951年)に31,048錠に増設しました。そして、昭和30年(1955年)には、兼屋綿布の紡績工場5,040錠を買収し、弊社の岸和田工場としました。昭和32年(1957年)には、本社第二工場を建設して、ポリエステル・綿混紡糸の紡出を開始しました。

昭和38年(1963年)には、姫路市花田町に市川工場を建設して仮撚機10台を導入し、ナイロンウーリー加工事業を開始しました。昭和49年(1974年)には仮撚事業を撤退、代わって紡機8,000錠を導入し紡績事業への転換を行いました。昭和50年(1975年)には、熊本県御船町に熊本工場を建設し、超近代化紡績設備14,400錠を新設し、ポリエステル・綿混紡糸の紡出を開始しました。



創業者 龍田謙也の肖像

## 中国・インドネシア等新興国からの輸入増による繊維産業の衰退



熊本地震被害状況



熊本工場の現況

昭和53年(1978年)5月に岸和田工場を閉鎖し、昭和63年(1988年)4月には、熊本工場に超近代化紡績6,912錠を増設しました。平成4年(1992年)10月には、熊本工場へ超近代化紡績を5,184錠増設しました。平成6年(1994年)3月には市川工場を閉鎖しました。更に、平成13年(2001年)1月には、本社工場を閉鎖しました。

平成28年(2016年)4月、熊本工場は、熊本地震によって甚大な被害を受けましたが、懸命の努力の結果、早期に復旧できました。先に閉鎖した市川工場跡地には太陽光発電設備を設置しました。本社工場跡地には、商業施設を誘致し現在に至っております。本社工場、市川工場の2工場は、紡績業の盛んだった姫路市に最後まで残っていた紡績工場でありました。

令和3年(2021年)11月には、弊社の創業120周年記念式典をささやかではございますが、開催しました。



元本社工場 商業施設



元市川工場の現況 太陽光発電設備

## 今後の弊社の進むべき方向は

これまでも社会の常識を覆すような革新的な技術があったように素材産業は、現在の環境を変えられる産業であると信じています。弊社は、『素材は、世界を変える』そんな大きなテーマにお取引先様と手を携えて挑戦してまいりたいと考えています。

市場環境が目まぐるしく変化する中で、1世紀以上にわたって事業を継続させていただけしたのは、『飽くなき素材への探求』があったからと考えております。その延長線により良い社会があることを信じて、更なるお客様の感動のために邁進させていただきます。

since  
1901